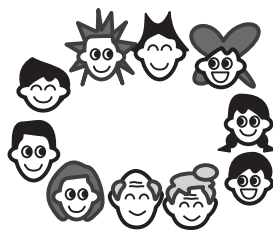


津谷歯科医院 口腔ケア新聞

NPO法人
訪問歯科診療
を広める会
賛助会員



令和6年10月号

発行人 津谷歯科医院

院長 津谷良

住所 岡山市中区海吉1807-14

紙面に關するお問い合わせは下記まで

電話：0120-779-418

電信代行：訪問歯科診療を広める会

皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。

在宅要介護高齢者の介護度悪化には、年齢が最も影響しています。特に85歳以上では、84歳以下と比較して悪化リスクが10倍も高くなります。では年齢以外にはどんなものが要介護度悪化の要因となるでしょうか。令和3年の『自立支援に資する介護等の類型化及びエビデンスの体系的な整理に関する研究』（総括研究報告書、松田晋哉等、産業医科大）によると、一般病院への入院、認知症、骨折、肺炎、腎不全等が介護度を悪化させる上位5因子であると報告しています。入院以外は、すべて疾患が原因ですが、“入院すること”自体が介護度悪化の原因となっているという意味です。今月は『要介護高齢者における入院は介護度悪化のリスク』についてご紹介します。

1. 入院患者の半数以上が要介護者

入院患者に占める要介護者の割合は、『入院医療等の調査』（令和2年）によると、急性期病院で26.6%、一般・地域包括ケア・回復期リハ病院では54.1%と半数以上を占めています。また介護施設や福祉施設から急性期病院に入院となった患者のうち、肺炎が20%、次に腎臓に関連する疾患が8.5%、心臓に関連する疾患が6.6%で、これらが医療資源を最も投入した3大疾患で、肺炎予防が重要な課題であることがわかります。

2. 入院関連機能障害とは

入院となった患者さんは安静を保ちながらベッド上に寝ている（安静臥床）必要があり、長期にわたる安静臥床は筋力の低下や情緒の不安定化、意欲低下や抑うつ状態等の弊害が懸念されることがよく知られています。安静臥床を原因とする歩行障害、下肢・体幹の筋力低下等の機能障害は全入院患者の30～40%に発生すると報告されています。10日間の安静臥床で17.7%の筋肉量減少することや、長期臥床により、呼吸機能の低下が生じ肺炎に罹患しやすく治りにくい悪循環に陥ることも報告されています。

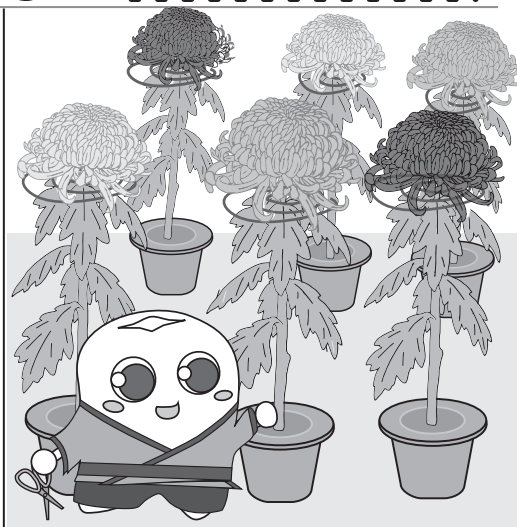
この入院関連機能障害の発生リスクとして、①高齢である（特に85歳以上）、②入院前のADL低下、③栄養状態不良が因子として明らかとなっています。

3. 入院を予防する

このように要介護高齢者にとっては、入院すること自体が介護度悪化のリスクであり、家族にとっても経済的・精神的な負担となります。一方、介護事業所にとっても介護サービスが中断となり収益の悪化の原因となります。さらに国の財政も入院費用の公費負担が膨らみます。そこで厚労省では、要介護高齢者の入院を予防する施策を導入しました。

4. 肺炎と低栄養を口腔管理で減らす

入院の原因は肺炎や低栄養が多く、口腔の衛生管理で肺炎を減らし、口腔の機能管理で低栄養を減らすことが可能です。要介護高齢者は、口腔機能の検査をぜひ受けてください（保険適応）。口腔機能の検査は、口腔内の衛生状態はもちろん、咀嚼や飲み込みの状態等を総合的に診断することができます。状態の悪い場合は継続的に口腔管理を行い、口腔状態を維持・改善できます。お気軽にご相談ください。



◆ 入院は介護度悪化の高リスク因子なので口腔管理で入院予防を！ ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって



ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、『いつもお元気でいいですね』って話をしていたのに…。そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間 9:00～12:30/14:00～18:30
(土曜日は16:30まで)

診療科目 歯科 小児歯科

休診日 木曜・日曜・祝祭日

院長 津谷 良

岡山市中区海吉1807-14

☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413